

# 「雷神スリム」メインに展開

## ニューレジストン社長 山内憲司氏



当社は砥石メーカーだが、グラインダも一体で手掛けることで、研削・研磨・切断の作業パフォーマンスを最大化したいと考えている。

そこで、昨年10月に「電気式ミニグライン

ダ雷神スリム」を発売は、新たに「ミニブル」した。2017年に「サーラックオフセット」盤となった雷神の後継「タイプ」をこのほど発売した。セラミック砥石種として開発を進め、本体のスリム化やハイパワーモーターの採用など大幅に進化させた。雷神スリムの売により、ミニシリーズの活躍の場がさらに増えると思う。当社製品のメインに据えて展開していきたい。

昨年6月には、鋳物研削に有効な「メタリツジバー」を発売した。鋳物は研削作業がやりにくく、砂噛みや焼付きなどの課題があった。そこで、鋳物でもスムーズに研削できるメタリツジバーを製品化。砥粒のダイヤモンドを合金に電着する技術の確立に苦労したが、自社開発にこだわった。加えて、「空気式ストレートグラインダ雷神ストレート」を発売。持ちやすさや芯振れ精度を追求し、RS超硬バーやメタリツジバーの性能を100%引き出すことができた。こう設計した。今年度の売上は前期比2割ほど減少する見込みだ。こうした厳しい市況ではあるが、ユーザーにきめ細かくアプローチすることで、新製品を中心とした販売に努めていく。コンセンユ」を活用してもらうことで、作業内容やワーク材質などの条件から砥石探しをサポートする。加えて、砥石のアプリケーションに応じた最適な粒度を展開するなど、ラインアップを分かりやすく整備していきたい。

「雷神スリム」は、新たに「ミニブル」した。2017年に「サーラックオフセット」盤となった雷神の後継「タイプ」をこのほど発売した。セラミック砥石種として開発を進め、本体のスリム化やハイパワーモーターの採用など大幅に進化させた。雷神スリムの売により、ミニシリーズの活躍の場がさらに増えると思う。当社製品のメインに据えて展開していきたい。